


報道機関各位

令和5年(2023年)7月3日(月) 14時00分 配布

<p>項目</p>	<p>東京農業大学 林業総合実務演習の実施について (地域性種苗による緑化法面の施工現場視察・種子採取体験)</p>
<p>配付資料</p>	<p>東京農業大学 林業総合実務演習 日程表 及び 種子採取会パンフレット</p>
<p>内容及び報道に当たってのお願い</p>	<p>オホーツク地域林業担い手確保推進部会(事務局:オホーツク総合振興局林務課)では、東京農業大学の学生を対象として、管内の林業に興味をもってもらい、将来、就職の選択肢の1つとして考えてもらえるよう標記演習を実施しており、この度、法面緑化施工(治山事業)に関する現場視察及び治山事業の緑化に利用される地域性植物の種子採取体験を実施しますのでお知らせします。</p> <p>なお、種子採取体験はオホーツク地域植物緑化研究会(暫定)が主催する「オホーツク地域植物種子採取会」と併せての開催となっております。</p> <p>※研究会の詳細は別紙参照。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日 時 令和5年7月7日(金) 13:00~16:00</p> <p>2 場 所 法面施工現場視察:網走市大曲 法面緑化施工現場(大曲駐車場近く) 種子採種体験:フラワーガーデンはな・てんと</p> <p>3 参加者 東京農業大学 生物産業学部 北方圏農学科3、4年生 25名</p> <p>4 内 容 法面緑化施工の現地視察と地域性緑化草本の種子採種体験</p> <p>5 その他 本演習では、山崩れなどの山地災害から住民の生命・財産を守るために行われる治山事業の必要性と地域性植物による法面緑化の取組について理解してもらうのが目的です。</p> <p>また、フラワーガーデンはな・てんとで開催される種子採種会は東京農業大学の学生以外でも参加可能ですので、積極的な報道をお願いします。</p> <p>※一般の方の種子採種会への参加申込・お問い合わせは下記へお願いします。 東京農業大学生物産業学部北方圏農学科 生態系保全学研究室 助教 岡田 慶一 (e-mail:ko207453@nodai.ac.jp)</p>
<p>他のクラブとの関係</p>	
<p>担当窓口</p>	<p>オホーツク総合振興局産業振興部林務課 主幹 和田 修一 電話(直通):0152-41-0646 FAX:0152-45-0553</p> <div style="text-align: right;">  </div>

林業総合実務演習  
地域性種苗による緑化法面の施工現場視察・種子採取体験

【日時】 令和5年7月7日（金） 13:00～16:00

【場所】 ①法面緑化施工現場視察：大曲駐車場（呼人キャンプ場斜め向かいの駐車場）  
②地域性緑化草本の種子採取：フラワーガーデンはな・てんと  
（網走レークビュースキー場山頂ロッジ）駐車場

【行程】

時間	行程・作業	備考
13:00	大曲駐車場集合	
13:05	大曲・法面緑化現場見学	
13:40	見学終了・はなテントへ移動	
14:00	はな・てんと集合	
14:05	種子採取・概要説明	クサヨシの種子採取
16:00	種子採取終了・現地解散	

## 集合場所地図



### 種子採取作業の内容と注意事項

- ① クサヨシは、高さ 80~150cm 程度のイネ科の草本植物です。
- ② スキー場内に生育しているクサヨシの種子を採取します。採取方法は当日、実演・指導します。



クサヨシ（左写真 法面に生えるクサヨシ、右写真 クサヨシの穂）

第1回(2023の春の種子採取)

# オホーツク地域植物種子採取会

緑の地産地消・・・オホーツクの植物でオホーツクを緑化するそんな取組を始めます。

- 期日:2023/7/7 14:00 集合 16:00 解散(予定 雨天延期)
- 場所:フラワーガーデンはな・てんと(網走レークビュースキー場)  
集合場所は裏面参照 ●網走市のご了解を頂いています
- 採取植物:クサヨシなど(種子の結実状況により判断)
- 主催:オホーツク地域植物緑化研究会(暫定)  
地域の研究者:東京農業大学, 北見工業大学  
地域の緑化業者:(株)アヤメ緑化工業  
アドバイザー:SPTEC・YAMADA ★会員募集中(検討中)
- 申込・問い合わせ先  
東京農業大学生物産業学部北方圏農学科 生態系保全学研究室  
岡田 慶一(e-mail: ko207453@nodai.ac.jp)

## ●地域の種子で地域の緑化を行う●

### ◇現状と課題

道路建設, 治山・砂防工事における法面・斜面では, 外来草本植物種子を用いた緑化工事が行われています。外来草本は種子が安価で生育が早いなど多くの利点を有しています。

一方, 外来種の利用は, 地域の生態系への影響が懸念され, 特に自然公園内での外来種利用は制限されています。自然公園における法面緑化指針(環境省2015)では, 地域性植物, 表土利用などによる緑化が推奨されています。

### ➤課題解決のための研究

オホーツク地域は, 自然が豊かで自然公園に指定されている地域が広く分布しています。オホーツクの植物(地域性植物)でオホーツクを緑化するために, 植物種子採取の課題, 発芽・生育特性, 侵食防止効果など地域性植物導入に関する実証的な研究を行います。

## ● 種子採取会集合場所



## ● 種子採取作業の内容と注意事項

- ① クサヨシは、高さ 80～150cm 程度のイネ科の草本植物です。
- ② スキー場内に生育しているクサヨシの種子を採取します。採取方法は当日、実演・指導させていただきますので、どなたでも参加可能です。
- ③ 特に汚れる作業ではありませんが、なだらかな傾斜地で散策するのに適した服装でお越しください。また、種子採取に必要な道具（バケツ、手袋など）は準備しています。



クサヨシ (左写真 法面に生えるクサヨシ, 右写真 クサヨシの穂)